２０１８年　５月　６日 ≪ 誕 生 祝 福 式 ≫

主　日　礼　拝

	①８時半	②１０時半	③１９時
司　会	①石井師	②白川　達男兄	③石井師
奏　楽			
祈　祷	①石井師	②松岡　清枝姉	③石井師

賛　美　新聖歌２０番 ＆　～心が疲れたとき～

パウロの祈り①

聖　書　①ルカによる福音書１１章１～４節

②使徒行伝１４章１～７節

特別賛美　Cloud By Day

メッセージ　①「真夜中に戸をたたく」坪井永城牧師

②「主はあなたを用いられる」石井　潤牧師

献　金　聖歌723番「暗き谷間をたどる時も」

祝　祷　〔献金：和田姉・青木姉〕

お知らせ　【司会者】

賛　美　「叫べ全地よ」

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

１．本日昼食後１時～、聖書の学び会が行われます。

２．今週の祈祷会：☆早天祈祷会/明朝６時。★木曜祈祷会/①午前 10 時半、夜７時半。メッセージは大川従道牧師。☆準備祈祷会/土曜夜８時。

３．金曜夜７時、ＹＣＵ「米田ひろしコンサート」(上田市消防団第二分団詰所２Ｆ)

４．来週日曜礼拝では聖餐式が行われます。午後は執事会です。

5/17(木):大手家庭集会　20(日):ペンテコステ礼拝　24(木):WOGA集会
27(日):聖歌隊　28(木):長野家庭集会

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔5/6～/13〕

Date	日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	列王紀上 12･13章		14･ 15章		16－ 18章		19･ 20章		21･ 22章		列王紀下 1－3章		4･ 5章		6－ 8章	
新約	ルカ24: 36－53		ヨハネ1 :1－28		1:29 －51		2章		3:1 －21		3:22 －36		4:1 －30		4:31 －54	
ﾁｪｯｸ	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「主はあなたを用いられる」

～１５０年前の日本のキリスト者たちの祈り～

「そこで、二人は長期に渡ってそこに留まり、主に信頼して大胆に救いのメッセージを語った。主は、彼らに驚くべき奇蹟を行なわせ、彼らの語ったことが本当であることを立証された。」使徒行伝14章３節[現代訳聖書]

憲法記念日の信濃毎日新聞のコラムから

「近代化の号砲を鳴らした１５０年前の明治維新は、長崎・浦上のキリシタンにとって、“迫害の旅”の始まりだった。長崎市の国宝大浦天主堂に先月オープンした『キリシタン博物館』で、弾圧に耐えて信仰を貫いた庶民の強さに触れた。禁教下の幕末に天主堂ができたのは開国でやって来た外国人のためだ。完成から間もなく、浦上の潜伏キリシタン十数人がフランス人神父を訪ね、ひそかな信仰を打ち明ける。『信徒発見』の知らせは宗教史上の奇跡として海外の教会関係者を驚かせた。ところが神道の国教化を目指す新政府は幕府の禁教政策を踏襲する。浦上の約３４００人は各藩へ流罪になり、拷問や苦役を科され改宗を迫られた。欧米に派遣された岩倉使節団が各国から抗議を受け、禁教を解いたのは維新の5年後だった。６００人以上が亡くなったとされる。このとき大隈重信は弾圧を非難する英国公使と渡り合い頭角を現した。大浦天主堂は『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』として今夏の世界文化遺産登録を目指す。厳しい監視をかいくぐって独自の信仰を育んだ『潜伏』は文化遺産に値しよう。津和野藩に配流となった信徒は氷の池に投げ込まれた。帰郷した浦上に30年かけ完成した東洋一の大聖堂は原爆で一瞬にして倒壊した。今日は憲法記念日、島根県津和野町では信教の自由と平和を祈るミサがある。過酷な道を強いられ苦しみに耐えた先人に憲法の精神は重なっている。」

この私たちの日本においても同様に苦しみの中でも、信仰によって大きな奇跡を表わした人々がいた。そう思うと、私たちも救われる。現在の日本もどんな方向に進んで行くのか不安な部分があるが、どんな世界になったとしても、私たちの主に対する信仰は変わらない。そして、私たちの主は私たちの大いなる味方である。私たちクリスチャンたちがきちんと目を覚まして、この世の人々に証ししていかないと、この世の中はどんどん悪くなっていく一方である。

しかし、私たちは神ではなく、不完全で、失敗だらけのただの人間である。しかし、栄光の復活の主は私たちと共にいて、その力を豊かにあらわされる。今週木曜日は主が天に昇られた「昇天日」。しかし、その後も主は変わらずに信じる者たちと共に働かれた。今も主は私たちと共にいて、すべてを支配されるお方です。主に信頼して祈り進みましょう！